

# 試験研究炉等の核セキュリティ対策 ロジックモデル

(インプット)

令和元年度  
 予算  
 37百万円  
 ※補正予算なし  
 (執行額 36百万円)  
 執行率97%

(百万円)

年度	執行額
平成29	29
平成30	29
令和元	36

(アクティビティ)

試験研究炉等の核セキュリティ対策

- 核物質防護規定の審査
- 核物質防護に係る検査
- 核物質防護システム確立調査

(アウトプット)

- 核物質防護規定の審査
  - 【活動指標】核物質防護規定の審査の数
  - 【活動実績】(件)

年度	平成29	平成30	令和元
件数	15	18	55
- 核物質防護に係る検査
  - 【活動指標】核物質防護に係る検査の件数
  - 【活動実績】(件)

年度	平成29	平成30	令和元
件数	25	24	24

※核物質防護規制対象施設ごとに年1回検査を実施
- 核物質防護システム確立調査
  - 【活動指標】核物質防護規制の高度化に資する委託調査実施件数
  - 【活動実績】(件)

年度	平成29	平成30	令和元
件数	2	2	1

(アウトカム)

- 核燃料物質の防護
  - 【成果指標】試験研究用原子炉、核燃料物質等の使用施設における特定核燃料物質の盗取及び妨害破壊行為による同物質の漏えい事象の件数
  - 【成果実績】過去3年間で0件
- 核物質防護規制の高度化
  - 原子力施設の情報システムに係る妨害破壊行為等の脅威を決定し、事業者に提示(平成30年)
- 国際機関による評価
  - 国際原子力機関(IAEA)の専門家チームが日本の核セキュリティ体制について「強固で十分に確立されたものである」と評価(平成30年)

(上位政策・施策)

施策:  
 核セキュリティ対策の強化及び保障措置の着実な実施

政策:  
 原子力に対する確かな規制を通じて、人と環境を守ること